

国際理解・国際協調(茨城県立並木中等教育学校 柳橋 春和)

【実践者】

氏名	柳橋 春和	学校名	茨城県 茨城県立並木中等教育学校
担当教科等	英語	対象学年(人数)	中学1年(160名)
実践年月日もしくは期間(時数)	R5年11月～12月(2時間)		

【実践概要】

1. 実践する教科・領域: 英語		
2. 単元(活動)名: 国際理解・国際協調		
3. 授業テーマ(タイトル)と単元目標 授業テーマ: 「ラオスに対する問いを持つ!」 単元目標: ・ラオスの人々や文化を知り、関心をもつ。 ・日本の文化や生活と比較して、日本との同一性やつながりに気づく。 関連する学習指導要領上の目標: 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。		
4. 単元の評価 規準	①知識及び技能	ラオスの人々や文化を知り、関心をもつことができる。
	②思考力、判断力、 表現力等	調べたことをもとに、グループ内での発表の場面で、自分の考えを聞き手に分かりやすく伝えることができる。
	③学びに向かう力、 人間性等	疑問に思ったことを、自ら進んで追求することができる。
5. 単元設定 の理由・単 元の意義 (児童/生徒 観、教材 観、指導 観)	【単元設定の理由】 他国の人々や生活について知るうえで、日本との同一性やつながり、日本の良さについて気づいてほしい。 【単元の意義】 世界には実に多様な文化や価値観が存在する。国籍や民族などが異なる人々がお互いに認め合うことが必要である。よって、必ずしも自分の当たり前が世界の当たり前ではなく、違いを乗り越えながらも共生していくことの大切さを単元を通して伝えていきたい。 【児童/生徒観】 英語や他教科の授業、課外活動を通して、世界の国々について学んできており、外国への興味・関心は非常に高い。しかし、どちらかというと生徒自身がテレビで見たり実際に訪れたりした欧米諸国に関心が高く、開発途上国への知識や理解は乏しい。 【指導観】 本校には高校生から個人で興味のある分野の研究をする「課題探究」という学校設定科目がある。探究への準備として普段から様々なものや価値観に触れ、自分で調べたり考	

えたりすることで、物事に対して「問い」「疑問」を持ち自ら追求していく姿勢を育てたい。授業を通して生み出された「問い」を現地の人々との交流を通してさらに掘り下げていく。				
6. 単元計画(全2時間)				
時	小単元名	学習のねらい	学習活動	資料など
1	「日本の魅力とは」	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の人々に紹介したい日本文化について理解を深める。 ・既習の英語の文法項目を用いて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外に向けて発信したい日本文化を紹介するアルファベット表を作る。 ・まとめた内容を英語で発表する。 	スライド資料
2 本時	「ラオスについて知る」	<ul style="list-style-type: none"> ・ラオスについて知る。 ・ラオスに対する問いを持つ。 ・既習の英語の文法項目を用いて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラオスについてスライドで紹介する。 ・ラオスの文化を紹介するアルファベット表を作る。 ・まとめた内容を英語で発表する。 	スライド資料
7. 本時の展開(2時間目) 本時のねらい:ラオスに対する「問い」を持つ！				
過程・時間	教員の働きかけ・発問および学習活動 ・指導形態		指導上の留意点 (支援)	資料(教材)
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ラオスの小学校の教室にあったアルファベット表を提示する。 ・事前に作成した、日本の文化を紹介するオリジナルアルファベット表の作成方法や内容を振り返る。 ・ラオス版アルファベット表作成の説明をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・文化が異なれば、常識も異なることを再度伝える。 ・自国の中でも見方は人それぞれであることを再度伝える。 	スライド資料
展開 (45分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ラオス版アルファベット表(写真付き)の例を英語で提示し、ラオスの紹介をする。 ・生徒は教師からのヒントを参考に、提示されているものが何かを答える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・日本との共通点やつながり、相違点について言及し、理解を促す。 ・ヒントを与えることで、生徒から答えを引き出すようにする。 ・適宜日本語を使用し、生徒がしっかりと理解できるように支援する。 	スライド資料 写真 シン(伝統衣装の巻きスカート) キープ紙幣
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒がラオスを紹介するスライドを個人で作成する。 ・紹介するテーマは自由。基本英語で作成するが、日本語を用いることも可とする。 ・4人グループに分かれ、作成したスライドをそれぞれ発表する。 ・グループでの発表を聞き、感じたことやもっと知りたいことについて、アンケートフォームに入力する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視をし、英語でうまく表現できない生徒にアドバイスをする。 ・時間が余れば、グループのメンバーを変えてもう一度行う。 ・ラオスに対する「問い」を持つことを意識させる。 	生徒が作成したスライド資料(Googleスライド) Google フォーム

<p>8. 評価規準に基づく本時の評価方法</p> <p>①知識及び技能:生徒が作成したスライド資料</p> <p>②思考力、判断力、表現力等:生徒が作成したスライド資料及び、発表内容・態度</p> <p>③学びに向かう力、人間性等:スライド資料及び、Google フォーム入力内容</p>
<p>9. 学習方法及び外部との連携</p> <p>個人で調べて考えた内容をグループの他のメンバーと共有することで、自分の考えを伝えるだけでなく相手の考えを知ることができる。また、自分にはない考え方や視点に出会うことができる。</p>
<p>10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組</p> <p>今回の授業実践は、校内で年に3回行われている本校教員間での授業公開期間に実施したものである。英語科だけでなく他教科の教員も授業を参観してもらい、良い点や改善点についてコメントをいただいた。</p>

【自己評価】

11. 苦勞した点	生徒たちが違いを肯定的に捉えられるようにすることが難しかった。インターネット上にあふれる様々な情報は良い印象を与えるものもあれば、そうでないものもある。その中で、他国の文化を面白いと思えるような工夫を、もっと加えられればよかった。
12. 改善点	ラオスの課題や日本との共通の課題についても考える機会を設けていきたい。そのためには、英語の授業だけで完結させずに社会などの他教科との教科横断的な授業を実施する必要があると感じた。英語の授業では言語活動が中心になるため、深い思考が求められる課題解決などは社会との連携が欠かせないと思った。
13. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒がラオスについて考え、「問い」を持つきっかけを与えることができたこと。 ・生徒自身が興味のある分野について、ラオスではどうなのかと疑問をもち、自ら追求しようとする姿勢が見られたこと。 ・毎日取り組んでいる自主学习ノートにラオス語を練習する生徒や1日の振り返りを記入する手帳にラオス語で記入する生徒がいるなど、生徒の変容を感じられたこと。
14. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	<p>生徒の「問い」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラオスの人々は日本人や文化のことをどう思っているのか。 ・ラオス人はなぜ穏やかなのか。 ・どんな国の文化が影響して今の文化になったのか。 ・ラオスの人の誇りとは何か。 ・子供は学校に行く以外に何かやっていることはありますか。 ・ラオスでモテる人の特徴を教えてください。 ・産業について、もっと知りたい。特に工業。日本との違いは何なのか。 ・ラオスに日本のチェーン店はあるのか。 ・ラオスのアイドル(Lao Navy)は、ラオスで、ライブやフェスなどを行っているか。 ・ラオスの料理で、日本で購入できる素材だけで作れるものってありますか。 ・ラオスの鉄道について知りたいです。

15. 授業者による自由記述	研修を通して様々な人々と出会い、多様な価値観に触れながら考えを共有することができた。ラオスの人々やそこで活躍されている日本人の方々の想いを、今後も授業を通して伝え続けていきたいと思う。
----------------	--

参考資料:

<書籍>


- ・2019年度 JICA 中国・四国 教師海外研修 ―ラオス― 授業実践報告書
- ・JICA 中部 教師海外研修ガイドブック

【資料1】2時間目に教師が使用したスライド資料


<p>U / u</p>  <p>school uniform</p>	<p>B / b</p>  <p>bill</p>	<p>A / a</p>  <p>Arch of Triumph</p>
<p>K / k</p>  <p>kendo</p>	<p>Bonus</p>  <p>banana</p>	<p>About the chart...</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ Free topics ✓ Only one slide ✓ Japanese or English <p>↓</p> <p>Presentation!!</p>

【資料2】2時間目に生徒が作成したスライド資料及び発表原稿

①

<p>B / b</p>  <p>Bus</p>	<p>Japanese buses are famous in Laos because these come from Japan. Laos buses have features. Laos's buses are also minivan. So, you can place your luggage on the roof.</p>
---	--

②

<p>D / d</p>  <p>dragon fruit</p>	<p>This is Laotian dragon fruit. Many Japanese ones are not sweet and not tasty, but Laotian ones are very sweet and really tasty! We can sometimes see purple dragon fruit, like the picture on the left in Laos. I want to go to Laos to eat it someday!</p>
---	--

③

L Luang Prabang

約2: 日本が2時間早し。

1972年12月 1972年12月

×10時間45分



Luang Prabang is an ancient capital located in northern Laos. The city itself is a UNESCO World Heritage Site.

Luang Prabang is an ancient capital located in northern Laos. The city itself is a UNESCO World Heritage Site.

④

B/b



LAO-NIPPON BRIDGE

LAO-NIPPON BRIDGE is 1380 meters. Lao only doesn't make it, but Japan and Lao make it.

⑤

C/c



Laos coffee

This is Laos coffee. Laos coffee began when coffee trees were introduced from France. Currently, Lao coffee beans are exported to neighboring countries such as Vietnam and China, as well as Europe and Japan.